

製品名: サイトケラチン 5 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM80599**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC, ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.03%アジ化ナトリウムを含む PBS。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000, ELISA 1:5000-1:20000
分子量	/

抗原情報

遺伝子名	Cytokeratin 5
別名	K5; DDD; EBS2; KRT5A; KRT5
遺伝子 ID	3852.0
SwissProt ID	P13647
免疫原	大腸菌で発現した CK5 の精製された組み換え断片。

背景

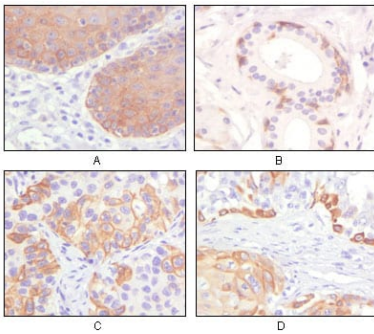
CK5 (ケラチン 5) はケラチン遺伝子ファミリーの一員です。生化学的には、CKファミリーのほとんどのメンバーは、タイプ I (酸性ポリペプチド) とタイプ II (塩基性ポリペプチド) の 2 つのクラスのいずれかに分類されます。タイプ II サイトケラチンは、塩基性ま

たは中性タンパク質で構成され、単純および重層上皮組織の分化過程で共発現する異型ケラチン鎖のペアとして配置されています。このタイプIIサイトケラチンは、ファミリーメンバーである KRT14 と共に、表皮基底層で特異的に発現します。タイプIIサイトケラチンは、染色体 12q12-q13 の領域に密集しています。酸性ファミリーのメンバーと塩基性ファミリーのメンバーの少なくとも 1 つは、すべての上皮細胞で発現しています。サイトケラチン 5 は正常な基底細胞で発現します。サイトケラチン 5 遺伝子 (KRT5) の変異は、常染色体優性遺伝疾患である表皮水疱症 (EB) を引き起こすことが示されています。KRT5 の欠陥は、単純表皮水疱症の原因です。

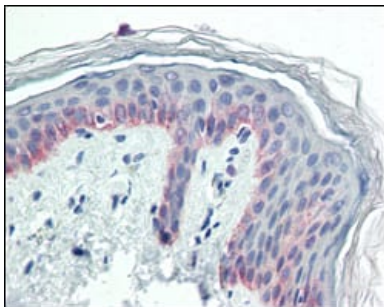
研究分野

-

画像データ



パラフィン包埋ヒト食道上皮 (A)、唾液腺基底細胞 (B)、肺扁平上皮癌 (C)、子宮内膜扁平上皮癌 (D) の免疫組織化学分析。DAB 染色による CK5 マウス mAb を使用して細胞質および膜の局在を示しています。



CK5 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト皮膚組織の免疫組織化学分析。